

研究主題

ふるさとに夢と志をもって、未来の創り手となる児童の育成

～「春日でこそできる教育」と「春日でもできる教育」を通して～

研究構想

学校の教育目標

豊かな心でたくましく生きる子

- 課題に向かって粘り強く考え、自信をもって表現できる子
- 豊かな人間性、社会性を備えた実行力のある子
- 命を大切に、健康や安全に気を付けて生活する子

児童の実態

- ・春日の自然を生かした多くの体験をしているため、ふるさと春日への親しみをもっている。
- ・極めて少人数で学習しているため、多様な考え方に触れたり、その中から、取捨選択して考えたりすることに弱さがみられる。
- ・体験をしていても、自ら課題を発見したり、追及したりする姿に弱さがみられる。
- ・自分の考えを伝える機会が少ないため、発表することに自信がもてない。

願う児童の姿

- ・ふるさと春日への憧れや誇りをもち、ふるさとに夢と志をもてる子
- ・他の小学校の児童と一緒に協働して課題を追究できる子
- ・積極的に情報を収集し、集めた情報を整理分析し、そこから自分の考えをもてる子
- ・他の小学校の児童、保護者、地域の方に自分の考えに自信をもって伝えられる子

研究主題 ふるさとに夢と志をもって、未来の創り手となる児童の育成

～「春日でこそできる教育」と「春日でもできる教育」を通して～

研究内容Ⅰ 春日でもできる教育

- ①多様な情報や他者との関わりの中で自らの考えを確かにし、深める指導の工夫
- ②相手意識や目的意識を明確にした表現活動の工夫
- ③情報の収集、整理分析、まとめ、表現活動の指導工夫

研究内容Ⅱ 春日でこそできる教育

- ①少人数指導のよさを活用した学習指導の工夫
- ②「ふるさと先生」から春日の自然や歴史を学ぶことを通して、「ふるさと春日」に夢やあこがれをもたせる指導過程の工夫

■ICTの利活用と情報活用能力の育成

<デジタル面>

- ・ロイロノート ・ワード ・パワーポイント
- ・オンライン交流学習

<アナログ面>

- ・「春日新聞社」
- ・「ふるさと学習発表会」